

# 農研機構シンポジウム「家畜繁殖現場の強化に向けた課題と求められる研究開発」 開催要領

## 1. 趣 旨

わが国の畜産においては、後継者不足や重労働、輸入飼料の高騰等を背景とした畜産農家戸数の減少により、競争力が低下しつつある。家畜繁殖現場を強化するため、農研機構では、第4期中長期計画において、効率的繁殖管理技術を開発するとともに、受胎率向上技術や、受精卵移植の受胎率向上に向けた高品質な生殖細胞・受精卵の生産・保存技術を開発し、畜産経営の省力化や生産コストを低減し、生産性を飛躍的に高める新たな生産システムなどを確立することとしている。今回のシンポジウムでは、直面している課題とその解決に向けた主要な研究成果を家畜繁殖技術者等へ情報発信し、その活用につなげるとともに、農研機構の研究活動についての社会的理解の深化・拡大を図る。

2. 主 催 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門

3. 協 賛 独立行政法人家畜改良センター

4. 日 時 平成29年2月24日（金）9:00 - 12:00

5. 会 場 つくば国際会議場（エポカルつくば）中ホール 200  
（茨城県つくば市竹園 2-20-3）

## 6. 議事次第

開会あいさつ 9:00 - 9:10

### 基調講演

家畜繁殖現場における課題と研究開発の方向性（仮題） 9:10 - 9:40  
家畜改良センター理事長 佐藤英明

### 話題提供

(1) 肉用牛における同時発情時の発情行動と排卵時間の関係（仮題） 9:40 - 10:00  
北里大学 獣医学部 坂口 実

休 憩 10:00 - 10:15

(2) 排卵同期化処理と早期妊娠診断を組み合わせた放牧牛の繁殖プログラム（仮題）  
10:15 - 10:35  
農研機構西日本農業研究センター 後藤裕司

(3) ウシ伸長胚を利用した現場実施可能な雌雄産み分け技術（仮題） 10:35 - 10:55  
農研機構畜産研究部門 松山秀一

(4) 牛の一卵性双子の効率的作出技術（仮題） 10:55 - 11:15  
家畜改良センター 橋谷田 豊

(5) 総合討論 11:15 - 11:55

閉 会 12:00

## 7. 参集範囲

農林水産省関係部局、地方農政局、独立行政法人試験研究機関、公立試験研究機関および普及指導機関、大学、民間団体、民間企業等

## 8. その他

申し込み〆切 平成29年2月10日（金曜日）

申込先は農研機構畜産研究部門・トップページの「参加申込受付中の会議情報」から入る申込みフォームよりお願いします。

<https://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/naro077/narosym-jusei>

【事務局】 畜産研究部門企画管理部企画連携室 交流チーム 松原

TEL:029-838-8292 FAX:029-838-8606

matubara@affrc.go.jp